

「土木工事の品質と安全性の向上にむけて」

国土交通省は建設現場の生産性向上を目指して、平成 27 年より「i-Construction」の取組みに着手しましたが、これは品質を確保したうえで推進されることが重要であります。品質確保の検討は、土木学会でも幾つか行われており、平成 28 年度の調査研究部門重点研究課題として「コンクリート構造物の品質・耐久性確保と人財育成のためのマネジメントシステムの構築と実践」（コンクリート委員会）の活動も行われています。一方、平成 28 年 4 月に発生した新名神高速道路建設工事における橋梁事故を契機に、工事中の安全確保についても関心が高まっています。構造工学委員会では、土木工事現場における熟練技能者の減少、担い手の不足という大きな課題を抱えた現状において、品質と安全性を向上していくための方策について考えるため、基調講演とパネルディスカッションによるセミナーを企画しましたので、多数の方の参加をお待ちしています。

1. 主催：土木学会（構造工学委員会）
2. 期日：平成 29 年 1 月 18 日（水）
3. 会場：土木学会 講堂
4. 定員：約 100 名
5. 参加費：会員 3,000 円 非会員 5,000 円 学生 1,000 円

6. プログラム

司会：中村聖三（長崎大学）

13:00～13:10開会挨拶

構造工学委員会委員長 白土博通（京都大学）

13:10～13:50基調講演

「(仮) コンクリート構造物の品質向上を目指して」細田暁（横浜国立大学）

13:50～14:30基調講演

「(仮) 橋梁架設工事における安全対策の基本的考え方」大下嘉道（日本橋梁建設協会）

14:30～14:45休憩

14:45～16:50パネルディスカッション 「土木工事の品質と安全性の向上にむけて」

コーディネーター：本間淳史（NEXCO 東日本）

パネリスト：木村嘉富（国交省国土技術政策総合研究所）

緒方辰男（(株) 高速道路総合技術研究所）

古市耕輔（鹿島建設（株））

野澤伸一郎（JR 東日本（株））

細田暁（横浜国立大学）

大下嘉道（日本橋梁建設協会）

16:50～17:00閉会挨拶